

実証課題名	下水汚泥資源活用による地域循環持続型農業実証プロジェクト(R5～R7)
構成員	ベジタリア(株)、いわみざわ農業協同組合、岩見沢市、北海道大学、北海道空知総合振興局空知農業改良普及センター、峯農産食品(株)、(有)西谷内農場、齊藤農場、池田農園、安藤農産、水ingエンジニアリング(株)、岩見沢地区汚泥利用組合、(株)スマートリンク北海道
汚泥肥料を製造・流通する事業者	いわみざわ農業協同組合(北海道岩見沢市) 岩見沢地区汚泥利用組合(北海道岩見沢市)

【背景・課題】

肥料価格の高騰への対応、化学肥料の削減に対し、畜産資源の少ない岩見沢市の地域資源である下水汚泥や農業廃棄物を組み合わせた安全かつ低コストな堆肥製造の個別技術の開発と最適化に取り組みます。また、新たな堆肥の導入に対応したスマート栽培暦の構築や、地域資源をフル活用した堆肥を切り口とした付加価値の向上、マーケティング方法を模索し、生産者・消費者の相互理解によるバイオマスを活用した資源循環型スマート農業の社会実装を目指します。



当コンソーシアム ロゴマーク

【下水汚泥肥料製造】

下水汚泥と地域資源(有機質資源)を組み合わせた、腐熟促進効果の確認と堆肥製造



下水汚泥と地域資源の堆肥(峯農産) もみがらを中心とした地域資源

目標

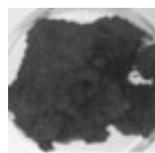
- ・ 高品質な汚泥発酵肥料の製造期間10%短縮
- ・ 肥料成分の含有量把握

【下水汚泥肥料 安全性・肥効分析】

下水汚泥肥料の安全性確保および肥効分析



岩見沢市南光園処理場



脱水ケーキ

目標

分析項目

- <安全性評価>
 - ・ 重金属、有害生物
 - ・ 植害、発芽試験
- <機能性評価>
 - ・ 土壌化学性、土壌物理性
- <品質評価>
 - ・ 重金属、放射性物質

【下水汚泥肥料活用の栽培体系構築】

下水汚泥肥料を活用した栽培体系の構築(作物ごとのスマート栽培暦)



水稻におけるスマート栽培暦例

目標

- ・ 化学肥料使用量20%削減
- ・ 水稻(移植/直播)、小麦、玉葱、大豆の作物ごとの新たな堆肥の導入に対応したスマート栽培暦の構築

【肥料普及と農産物需要拡大マーケティング】

下水汚泥肥料を活用した農産物等の需要拡大・付加価値向上に向けたマーケティング方法の構築



下水汚泥肥料を活用した作物PR



下水汚泥肥料を利用して特別米認証を受けた米

目標

- ・ アンケート調査における汚泥コンポスト活用への「認知」「興味」「理解」「利用検討」の割合を20%増または岩見沢汚泥利用組合の加盟者数(希望者数)20%増

【問い合わせ先】

実証代表

ベジタリア株式会社 小池 聡 skoike@vegetalia.co.jp / 03-6416-5525

視察等の受入について

スマートリンク北海道株式会社 小林 伸行
nobuyuki.kobayashi@smartlink-h.co.jp / 0126-33-4141